一人一人が備えてこ！防災力UP！鳥羽 vol.107

総務課防災危機管理室 ☎㉕1118

どこへ避難するか決めておきましょう

『災害時に避難する場所』には、**風水害等避難所**と**津波避難場所**があります。しかし、市が指定する場所にとらわれることなく、まちで決めた避難所や安全な親戚宅など、より安全な場所があれば、そちらに避難しましょう。

16～17ページの『災害時に避難する場所』は、**すぐに確認できるように抜き取り、保管しておきましょう**(市では、災害時に避難する場所の指定基準を設け、施設の耐震性や土砂災害の危険性などを考慮し随時見直しを加えています)。

①風水害等避難所とは

台風や大雨などにより、**洪水や土砂災害などから避難するための施設**です。

基本的に、被害を受ける恐れのある場合に市が発令する警戒レベル3（高齢者等避難）、警戒レベル4（避難指示）などに伴い開設されます。

②津波避難場所とは

地震が発生した時に、まず**津波から避難するための高台や屋外の場所**です。

津波が予想される場合や津波警報などが気象庁から発表された場合には、呼びかけを待たず、避難してください。また、地震の揺れが小さくても津波が襲来する場合もありますので、状況に応じて避難しましょう。

③福祉避難所とは

避難所での生活が困難な要配慮者を対象として、各避難所から開設の要請がある場合に、福祉避難所である施設の被害状況や受け入れ体制を確認したうえで、開設します。

Vol.62

自然と遊ぼう!

みんなで子育て だっこでほっと

子育て支援センター ☎㉕7225

暖かな日差しが気持ちいい季節になりましたね。ポカポカ陽気に誘われ、お外あそびを楽しむ親子の姿を見ると、こちらまで幸せな気持ちになります。

子どもにとって自然の中で遊ぶことは、子どもの五感（見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触る）を刺激する良い体験の場となります。例えば、きれいな景色を見て喜ぶ・感動する。鳥の鳴き声や海の波音を聞いたり、花や潮風の香りを嗅いで癒される。旬のものや、自分でとったものを食べておいしいと感じる。土や葉っぱなどさまざまなものを触り、感触の違いを楽しむ。また、危ないものを触ったり転んだりして痛みを感じることも、危機回避能力を育てるうえで大切な経験のひとつとなります。

このように、自然の中で五感をたくさん刺激し、感じることは脳の発達を促し、子どもの体と心にとても良い影響を与えてくれます。もちろんお家の中でも五感は刺激されていきます。ですが、自然は五感を思う存分使い、豊富な体験ができる絶好の学び場であることを、自然豊かな鳥羽の街に住むみなさんにもっと知っていただきたいと思います。

鳥羽には、それぞれ地域ならではの素敵な自然がたくさんあります。ぜひ天気の良い休日には、市民の森や近所の公園、海や山、川など鳥羽の自然の中へ出かけてはいかがでしょうか。きっと親子でかけがえのない宝物を見つけることができますよ。